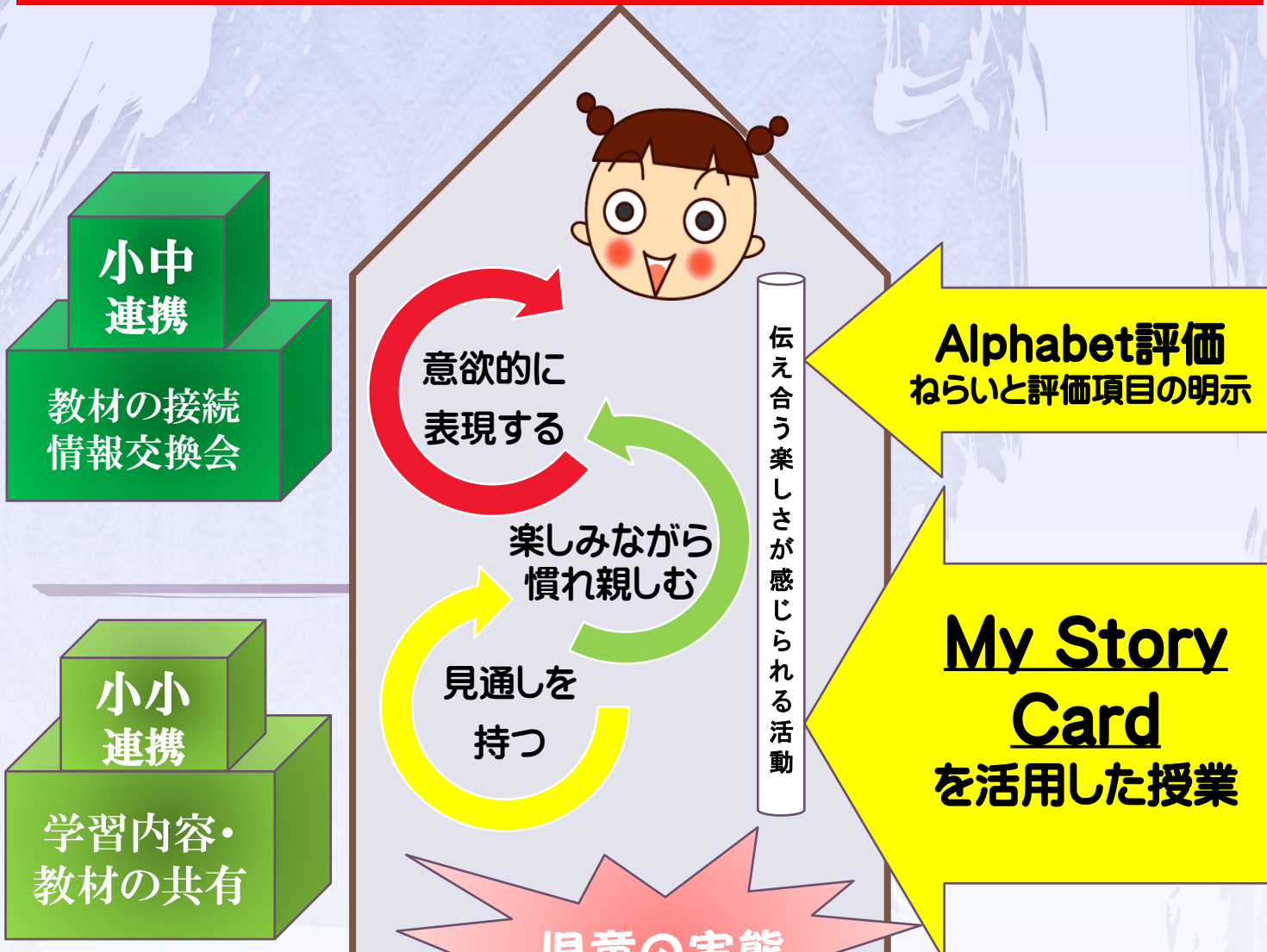


自分のことを意欲的に英語で表現しようとする児童の育成
— 「My Story Card」を活用した授業づくり —

長期研修員 田部井 卓之

研究の概要

自分のことを意欲的に英語で表現しようとする児童



意欲的に
表現する

楽しみながら
慣れ親しむ

見通しを
持つ

伝え合う楽しさが感じられる活動

Alphabet評価
ねらいと評価項目の明示

My Story
Card
を活用した授業

児童の実態

自分のことを英語で
言えるようにしたいな

ゲームは
好きだけど...

英語のフレーズを
覚えるのが難しいな

中学校の英語
は不安だな

将来英語が使える
と役に立ちそうだな



「My Story Card」の活用

「My Story Card」とは自分のことを絵や写真で紹介した1枚の絵画

見通しを持つ
つかむ
絵本や実物の提示

楽しみながら慣れ親しむ
慣れる
Where do you want to go?
I want to go to
Why?
Because I want to see ...
I want to eat ...

英語で表現します
広げる
Let's go to
You can play
You can eat
Let's go to

友達のことを分かったよ! もっと知りたいな...

自分のことを英語で伝えられるよ!

Alphabet評価

外国語活動の目標
言語や文化についての体験的な理解
積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度
英語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ

Alphabet評価 **明示**

Active: 「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度」
Big voice: 「適切な声の大きさで会話しようとする態度」
Careful: 「言葉や文化に興味を持ち、相手のことを知ろうとする態度」
Design: 「自分なりにやり方を考え、工夫しながら相手に伝えようとする態度」
Enjoy: 「コミュニケーション活動を楽しもうとする態度」
Find: 「日本と外国の言葉や文化の違いに気付こうとする態度」

「様子確認シート」

今日は注意深く聞くことが目標なんだね!

小小・小中連携

指導内容の共有
授業研究会
情報交換会

「My Story Card」
指導計画
横断的授業実践

中学校外国語科との関連

成果

- ・ 「My Story Card」の活用で、児童は伝え合う楽しさを実感することができました。
- ・ Alphabet評価で、授業のねらいを明確にすることができました。

課題

- ・ 「My Story Card」の作成には個人差があり、効率よく仕上げる工夫が必要になります。
- ・ 複数の学校間で連携を図る場合に、細かい情報交換が必要になります。

《提言》

- ・ 外国語活動を他教科・領域の学習とつながりを持たせて進める。
- ・ 小小・小中連携をより深めるに当たり、外国語活動の趣旨を十分理解し、教材等を開発し、中学校英語科と系統的につながる取組を行う。